

まほろば秦野通信

平成27年6月8日
秦野市市長室広報課

タイトル	地産地消の新たな取り組み 100%秦野産小麦のパンが小学校給食に！
When (いつ)	6月19日(金) 給食時間
Where (どこで)	秦野市内全小学校 ※取材対応は市立北小学校(秦野市菩提380) 校長 杉崎 均 北小学校の給食時間 午後0時15分～
Who (だれが)	小学校13校の児童(児童数 8,392名) 生産農家 小泉達雄氏(秦野市菩提178)ほか
What (なにを)	秦野産小麦粉を使ったパンの提供を実施
How (どのように)	<p>「食」は、子供たちが豊かな人間性を育んでいく上で重要であることから、国は広く食育に取り組む契機となるよう、毎年6月を「食育月間」と位置付けています。</p> <p>このことを受け本市では、地産地消の推進と、地場農産物のPRを兼ね、秦野市農協(営農課)、高久製パン(神奈川県指定パン取扱業者)と協力し、秦野産の小麦粉を使ったパンを作り、市内13の小学校の学校給食に提供するものです(1回目はコッペパン)。</p> <p>また、提供する日については、本市でも毎月19日を「食育の日」と定め事業を推奨していることから、6月19日(金)に決定しました。</p>
Why (なぜ)	地産地消の推進と安心安全な地場農産物のPRを図るとともに、食育を取り入れた、子供たちの楽しい学校給食づくりに努めます。
今後の 取り組み	今後2～3か月に1回程度の割合で、秦野産小麦粉を使ったパンを提供していく予定です。
問い合わせ	<給食について> 学校教育課保健給食担当 担当：高橋 0463(84)2785 <小麦の生産について> JAはだの営農経済部 担当：高橋(栄作) 0463(81)7718